

ご挨拶

深浦町長 吉田 満

まずは、「弘前大学深浦エコサテライトキャンパス 二〇一九年度深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクト成果報告会」が、昨年二〇一九年七月一三日に、基調講演をいただいた阿部泰郎先生をお迎えし、盛大に行われましたことに対しまして、心からお祝い申し上げます。また、開催に向けご尽力いただきました、弘前大学理事（社会連携担当）石川隆洋副部長をはじめとする関係各位の皆様にご深く感謝申し上げます。

さて、国立大学法人弘前大学と深浦町が、地域連携協定を締結し、当町をフィールドとする「学びの場」となる、エコサテライトキャンパスを開設し、四年の歳月が経過いたしました。多様な分野に及ぶサテライトキャンパス事業を展開していただき、町民の皆様から大変好評を得ているところです。

とりわけ、弘前大学人文社会科学部渡辺麻里子教授による、円覚寺古典籍保存調査プロジェクトでは、東北地方には類例のない真言密教の資料として注目される古典籍類が次々と見つかり、中世以降の東国における真言密教の布広を探る、極めて価値の高い資料となり得るものと確信しております。

今年度、弘前大学で行われた成果報告会におきましては、会場から溢れるほどの参加者で、学都弘前の文化に対する意識の高さと円覚寺の古典籍に関する関心の高さに改めて感心申し上げます。ここ深浦町におきましても、弘前市には及ばないまでも、このプロジェクト事業を通じ、多くの町民の手により、ふるさとの文化財を知り、自分たちの手で貴重な文化財を守るという機運が高まることを大いに期待しています。

最後に、本プロジェクト事業にご協力いただいている、弘前大学佐藤敬学長、サテライトキャンパス所長の石川理事をはじめとする関係各位に心から感謝申し上げます、ごあいさついたします。

（令和二年一月吉日記）